

三重県国民健康保険団体連合会

令和 7 年 第 3 回理事会議事録

1. 開催日時

令和7年7月14日（月） 午前11時00分～午後0時07分

2. 開催場所

三重県自治会館 4階 第2・3研修室

3. 理事会の議事の経過及びその結果

（1）鈴木理事長から開会挨拶があった。

- 理事の皆様方には大変お忙しい中、理事会にご出席いただきお礼申し上げます。
- 国においては、令和7年6月に骨太の方針が閣議決定され、社会の変化に柔軟に対応し得る持続可能な社会保障制度の確立が示された。
- 医療・介護の分野においては、医療・介護DXを通じ効率的で質の高い医療・介護体制の構築に向けた取り組みが進められている。
- 予防・健康づくりにおいては、健康寿命の延伸、重症化予防、さらには医療・介護費の適正化に向けた取り組みが求められており、パーソナルヘルスレコード（PHR）を活用した効果的な保健事業の取り組み支援などが盛り込まれている。
- 国民健康保険制度については、都道府県保険料水準の統一、保険者機能や都道府県のガバナンス強化を進めるための財政支援の在り方について検討することとされている。
- 社会保障制度改革の動向を的確に把握し、基幹業務である審査支払業務を適切に実施していく。

（2）事務局から、理事総数 13 名のうち書面出席を含む全員が出席であり、開催要件を満たしていることを報告した。

（3）本会規約の規定に基づき、鈴木理事長が議長となって議事を開始した。

（4）本会理事会運営規則の規定に基づき、東員町長の水谷理事及び紀宝町長の西田理事

が議事録署名者に選任された。

(5) 加藤常務理事から国保連合会を取り巻く諸情勢として以下の報告があった。

- 骨太の方針において、医療・介護・子ども DX に関しては、2023 年度に決定された医療 DX 工程表に基づき、質の高い効率的な医療・介護サービスが提供される体制構築に向けて医療情報プラットフォームを構築し、各種データの共有や PHR を活用した取り組みを進めていくこととしている。
- 医療 DX の推進に関しては、予防接種、母子保健、自治体健診などの業務について令和 8 年度以降に全国的に運用とされており、本会においても関係業務の受託を予定している。
- 地方単独医療費助成に関しては、全国的に運用に向けた取り組みが進められており、関係自治体と連携して全国に先駆けて調整を進め、本年 9 月診療分から実施されることとなっている。
- 予防接種事務のデジタル化への対応については、令和 8 年度からの実施に向けて準備を進めている。
- 審査支払機能に関する改革工程表のとおり、システムのクラウド移行や支払基金との受付領域の共同利用については、令和 6 年 4 月から稼働しているが、審査領域を共同利用するためのシステム開発については支払基金との調整に時間を要している。実施時期が見通せない状況であるが、引き続き動向を注視していく。
- 社会保険診療報酬支払基金の組織見直しに関しては、医療 DX に関するシステムの開発、運用主体として抜本的に改組するというものであるが、議論が進んでいない。
- 被用者保険の適用拡大による国保への影響については、被保険者数は 110 万人減少するものの、財政影響については 170 億円改善するとされている。市町村国保の構造的な課題は今後の制度改革の中で検討を行っていく必要がある。
- 国民健康保険の更なる改革に関して財政制度等審議会の資料には、保険給付に応じた保険料負担を求めること、後期高齢者医療制度について財政運営の主体を都道

府県とすることを検討するべきであると示されている。

- 普通調整交付金の配分方法の見直し、後期高齢者医療のガバナンス問題、保険料水準の統一に関しては、県の業務と密接にかかわるため、国における今後の議論を注視しながら、県と連携・協力して対応していく必要がある。
- 大きな変化に的確に対応できるよう、保険者、関係団体と関係を密にして国民健康保険の安定運営に努めていく。

<西田理事>

地方単独事業について、紀宝町においては、特に小児科はほとんどが新宮市でお世話になっている。社保については現物給付で対応していただけるようになったが、国保については償還払いでの対応となっており、これを改修してほしいとこれまでお願いしてきた。医療 DX 推進のシステム改修の中で、加藤常務はじめ国保中央会のほうで尽力いただき、今年の9月から現物給付で対応していただけることになった。小児科の中でも国保は1割弱であるが、公平感という意味では我々としては非常にありがたいことである。

<杉本理事>

保険給付に応じた保険料負担を被保険者に求めると同時に県内の保険料水準を統一していくとあるが、保険給付に応じた保険料負担を被保険者に求めるとはどのようなことか。

<加藤常務理事>

能力に応じて負担する応能負担という考え方があり、被保険者に対する負担割合の見直しが進められている。具体的には高齢者であっても1割、2割の負担をさらに見直す、あるいは金融資産を勘案して負担割合を考えるという考え方も財政制度等審議会の資料には示されている。保険給付に応じて相応の負担をしていくことも保険制度を維持していくためにやっていかなければいけないところであるという考え方があっての記述ではないかと読み取っている。

＜杉本理事＞

保険料を負担できる人に負担してもらうということは以前からも言われていたが、損害保険的に多く医療費を使ったから保険料を多くいただく。負担できる方から保険料を徴収するという方向性なのか。

＜加藤常務理事＞

色々な保険料負担の考え方があるが、給付に応じて負担をしていただく考え方であると解釈している。

【 報告事項 】

報告第 1 号 三重県国民健康保険団体連合会職員給与規則の一部を改正する規則の専決処分について

報告第 2 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正の専決処分について

＜審議状況＞

報告第 1 号及び報告第 2 号について植村事務局長から報告があり、特に質疑なく了承された。

【 議決事項：規則の改正等 】

議案第 17 号 三重県国民健康保険団体連合会職員の育児休業等に関する規則の一部を改正する規則について

議案第 18 号 三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計経理規則の一部を改正する規則について

議案第 19 号 三重県国民健康保険団体連合会積立金規則の一部を改正する規則について

議案第 20 号 三重県国民健康保険団体連合会老人医療費審査支払規則を廃止する規則
の制定について

議案第 21 号 三重県国民健康保険団体連合会柔道整復師施術医療費審査支払規則を廃
止する規則の制定について

＜審議状況＞

議案第 17 号から議案第 21 号について、植村事務局長から一括して提案説明があ
り、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

【 議決事項：令和6年度事業報告と各会計決算並びに財産目録 】

議案第 22 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会事業報告について

議案第 23 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算につい
て

議案第 24 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳
入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 国民健康保険診療報酬支払勘定
3. 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定
4. 出産育児一時金等に関する支払勘定
5. 抗体検査等費用に関する支払勘定

議案第 25 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務
特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 後期高齢者医療診療報酬支払勘定
3. 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

議案第 26 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会

計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 介護給付費等支払勘定
3. 公費負担医療等に関する報酬等支払勘定

議案第 27 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等
特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 障害介護給付費支払勘定
3. 障害児給付費支払勘定

議案第 28 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導
等事業特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 特定健診・特定保健指導等費用支払勘定
3. 後期高齢者健診等費用支払勘定

議案第 29 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償金特別会
計歳入歳出決算について

議案第 30 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会福祉医療費助成事務特別会計
歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 支払勘定

議案第 31 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会財産目録について

<審議状況>

議案第 22 号から議案第 31 号について、植村事務局長から一括して提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

【 議決事項：令和 7 年度債務負担行為及び予算補正 】

議案第 32 号 令和 7 度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正について

議案第 33 号 令和 7 度三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 34 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 35 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 36 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 37 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 38 号 令和 7 年度三重県国民健康保険団体連合会福祉医療費助成事務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

<審議状況>

議案第 32 号から議案第 38 号について、植村事務局長から一括して提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

【 議決事項：三重県国民健康保険団体連合会役員候補者の推せん 】

議案第 39 号 会員たる保険者を代表する者以外の者のうちから選任する役員候補者の
推せんについて

<審議状況>

議案第 39 号について、植村事務局長から提案説明があり、特に質疑なく採決した
結果、全員異議なく原案どおり可決された。

(6) 辻村副理事長から閉会挨拶があった。

- 全ての案件について原案のとおり承認されたため、第 2 回通常総会に提案する。
- 国保を取り巻く情勢は変革期を迎えている。本会としては、より一層事業の円滑な運営に努める所存ですので、皆様方の格別のご理解とご支援をお願い申し上げます。

4. 出席者名簿

理 事 長	伊勢市長	鈴 木	健 一
副理事長	玉城町長	辻 村	修 一
〃	三重県副知事	服 部	浩
常務理事		加 藤	和 浩
理 事（書面出席）	津市長	前 葉	泰 幸
〃	桑名市長	伊 藤	徳 宇
〃	（書面出席）鈴鹿市長	末 松	則 子
〃	（書面出席）熊野市長	河 上	敢 二
〃	（書面出席）伊賀市長	稲 森	稔 尚
〃	東員町長	水 谷	俊 郎

〃	多気町長	久保行央
〃	紀宝町長	西田健
〃	三岐薬剤師国民健康保険組合	
	理事長	杉本守之

(代理出席)

津市健康福祉部健康医療担当理事	濱田耕二
鈴鹿市保険年金課長	竹下久美
熊野市市民保険課長	森下みほ子
伊賀市保険年金課長	松村成未

議事録署名者

印

印